

指定校番号	28074	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組例」

学校名	吉島中学校	校長氏名	高畑 伸穂	生徒指導主事氏名	後藤 貢
-----	-------	------	-------	----------	------

取組事例名 『体育祭 縦割り活動』

取組のねらい 『キーワード共感的人間関係づくり』

体育祭の縦割り活動、吉中ソーラン、色別の集会・練習・応援等を生徒主体で展開し取り組める集団づくりをめざす。それにより学年を超えた生徒相互の良好な人間関係を育む。

取組の具体的内容 『キーワード上級生から下級生に継承』

縦割り集団で、3年生のリードの下、当日までの取り組みや当日の応援を行うことで1、2年生に次年度は自分たちでやるという意識をもたせる。

本年度は下級生への指導を上級生に任せ、全校生徒による吉中ソーランの練習や種目の合同練習を実施した。また、各色の応援歌を考え練習したり、上級生が自発的に計画し、下級生の各教室を巡り、団結を呼びかけ、大会前の士気を高めるなど意欲的に取り組んだ。



【体育祭色別集会：縦割り活動開始】



【色別練習：3年生からの指示】



【2年生のソーラン練習】



【各色別の法被を着て士気を高める生徒達】



【色別の法被を着て踊る吉中ソーラン】



【閉会式での成績発表】



【色別集会：体育祭の縦割り活動終了】

取組の課題・創意工夫『キーワード事前の取り組みをしかける』

昨年度は事前に教師側でリーダーとなる学年を中心に指導を十分に行い、共に取り組んだが、本年度は上級生主体の下級生に継承する為の合同練習を実施した。各学年からリーダーを選出させ、各種目の上級生リーダーが下級生リーダーを指導し、そのリーダーが自身の学年の指導を行った。今後この縦割りの取り組みが体育祭だけでなく、文化祭の合唱発表やその他の活動にもつなげて行く。



【文化祭（合唱コンクール）の縦割り練習会の様子】

取組の成果（効果）『キーワード所属意識の高まり』

今までの学級単位の競技・競争から異学年での集団になったことで、より仲間意が高まりそれによつてどの生徒もより一層応援や競技を頑張るようになった。

特に生徒主体にした本年度は上級生がよりリーダーシップを発揮し、当日も率先して競技を盛り上げていた。下級生もよく協力し積極的に取り組み、来年のリーダーシップに期待できそうである。



【体育祭当日3年生リードの応援合戦】

今後の展開『キーワード本校の伝統に』

今後も生徒主体の取り組みをより充実させ継承させていき、体育祭、合唱祭のみならず、様々な活動で行えるようになるよう展開していくにまだ課題があるが、仲間を大切に思いやる生徒の集団の育成を図り、共感的な人間関係を育む生徒の育成のために取り組んでいきたい。

他校へのアドバイス『キーワード全教員で取り組む』

生徒主体が生徒任せになり、中身のない取り組みにならないよう、全教員が共通認識の基しっかりと、充実した活動ができるようになるまでサポートし導く。